

令和4年4月分 リサーチユニット活動記録 RU推進コミッティー：杉野，長谷川(新メンバー)，小西，田中

リサーチユニット長 杉野 隆三郎 (1ページ目のみ)

	活動日時	参加ユニット(6 units)	活動場所	活動内容 Keynote, and Workshop
1	4月6日 (水)	鄭：1名	協働プロジェクト開発室	(伊丹教員) カオス指数やフラクタル指数の計算アルゴリズムの問題 (杉野ユニット長) 生物や人間はある種のコスト関数(自然エネルギー)を最小化するように知覚や学習そして行動を展開 (香西教員) 3/25に変換装置の設置工事完了 【全体】協働プロジェクト開発室をリサーチユニット活動の拠点とする場合の様々な問題点等を検討 参加人数：7+3(杉野・小西・長谷川) = 10名
		加藤：0名		
		伊丹：2名		
		福見：1名		
		小林：1名		
		香西：2名		
2	4月13日 (水)	鄭：2名	協働プロジェクト開発室	(多田教員) 進化思考の教員向けセミナーについて (釜野教員) 蜘蛛の視神経に関する論文を電気学会論文集に投稿 (伊丹教員) 暗視環境下における魚類行動実験 (福見教員) 日本水産工学会学術講演会での発表準備について 【全体】リサーチユニット活動活性化の討論 参加人数：9+3(杉野・小西・長谷川) = 12名
		加藤：1名		
		伊丹：2名		
		福見：1名		
		小林：1名		
		香西：2名		
3	4月20日 (水)	鄭：3名	協働プロジェクト開発室	【全体】各ユニットリーダーからそれぞれの研究ユニットの概要と半期分の研究成果について箕島新校長に説明 参加人数：11+4(杉野・小西・長谷川・箕島校長) = 15名
		加藤：2名		
		伊丹：3名		
		福見：3名		
		小林：1名		
		香西：2名		
4	4月27日 (水)	鄭：1名	協働プロジェクト開発室	【全体】各ユニットリーダーと顔合わせした後、ユニット単位でリサーチ活動 参加人数：8+3(杉野・小西・長谷川) = 12名
		加藤：1名		
		伊丹：2名		
		福見：1名		
		小林：1名		
		香西：2名		

令和4年5月分 リサーチユニット活動記録 RU推進コミティー：杉野，長谷川，小西，田中

リサーチユニット長 杉野 隆三郎 (1ページ目のみ)

	活動日時	参加ユニット(6 units)	活動場所	活動内容 Keynote, and Workshop
1	5月11日 (水)	鄭：1名	協働プロジェクト開発室	(香西教員) 今年度予算で分光実験に必要な装置を購入し専攻科生が実験、加工システムはステージの納期が非常に長いため年度末までかかる可能性が高い、それまでは穴開けぐらいしかできない アクア化学との共同研究打ち合わせ(5/19) 6月試験期間中にCDIO2022で発表 (アイスランド レイキャビック) (伊丹教員) 水産研にマアジ準備を依頼、6月に予備実験(魚が小さいのが懸念) (釜野教員) 東西電工製作中の水耕栽培装置が7月に本校に来て、8月から実験(5E卒研生)、大腸菌検査などは5Z卒研生が担当
		加藤：0名		
		伊丹：1名		
		福見：0名		
		小林：休眠中		
		香西：1名		
2	5月18日 (水)	鄭：3名	協働プロジェクト開発室	【全体】進化思考セミナーに参加 各自の研究テーマを進化させる方法について学んだ 参加人数：9+3(杉野・小西・長谷川) = 12名
		加藤：0名		
		伊丹：3名		
		福見：2名		
		小林：休眠中		
		香西：1名		
3	5月25日 (水)	鄭：1名	協働プロジェクト開発室	(鄭教員) 東西電工訪問、実験装置7月設置、進化思考による研究の改善 (伊丹教員) 東大合原グループのカオス・フラクタル工学応用のオンライン会議に出席 (香西教員) 県庁の産業振興職員とMTG (福田教員) 蟻の生物行動に関するシミュレーションアルゴリズムが完成、生体実験の準備について 【全体】研究の進捗はデータ取得と分析等具体的な中身を報告すべき、論文作成等のワークショップは季節ものとする
		加藤：1名		
		伊丹：1名		
		福見：1名		
		小林：休眠中		
		香西：1名		

令和4年6月分 リサーチユニット活動記録 RU推進コミティー：杉野、長谷川、小西、田中

リサーチユニット長 杉野 隆三郎 (1ページ目のみ)

	活動日時	参加ユニット(6 units)	活動場所	活動内容 Keynote,and Workshop
1	6月8日 (水)	鄭：0名 加藤：0名 伊丹：0名 福見：0名 小林：休眠中 香西：0名	協働プロジェクト開発室	前期中間試験直前により、セミナーは休止
2	6月15日 (水)	鄭：1名 加藤：1名 伊丹：2名 福見：1名 小林：休眠中 香西：1名	協働プロジェクト開発室	【全体】進化思考セミナーに参加して、各自の研究テーマを「分解」する方法について学んだ。 参加人数：6+3(杉野・小西・長谷川) = 9名
3	6月22日 (水)	鄭：1名 加藤：0名 伊丹：0名 福見：0名 小林：休眠中 香西：0名	協働プロジェクト開発室	【全体】インターハイ、高専大会等スポーツ行事や外部への出張が重なり、極めて低調な参加者数となったので、 参加した3名で議論して各ユニットからの基調報告を再開することになった。 参加人数：1+2(杉野・小西) = 3名
4	6月29日 (水)	鄭：1名 加藤：0名 伊丹：2名 福見：2名 小林：休眠中 香西：1名	協働プロジェクト開発室	【Key Note Unit：鄭ユニット, Speaker：鄭教員】 共同研究先の東西電工が仕上げたLED水耕システムのダイアグラムと装置機器類の図面を参加者と検討することで 新たな気づきを得た。また、装置の設置場所についても議論することができた。 【全体】今回からセミナーを活性化させるため、基調報告を各ユニットからしていただき、研究を進展さすディスカッションを 促進させることにした。地元企業との実用研究であっても査読論文作成のための視点（オリジナリティの保持と 投稿先のジャーナル誌の選定）を持ち続けることがなによりも大切であることを指導した。